

第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立淀川清流高等学校
校長名	川口 賢志

開催日時	令和6年7月26日(金)16:00～18:00
開催場所	大阪府立淀川清流高等学校 校長室
出席者(委員)	國守 正二委員・白木原 亘委員・高元 伊智郎委員・中島 陽子委員
出席者(学校)	校長 川口 賢志・教頭 天満 康次郎・教頭 松本 秀樹・事務長 橋本 博之 首席 高橋 健一
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価 など
備考	

議題等(次第順)

- ・校長挨拶 ・委員自己紹介 ・会長および副会長の選出
- ・協議
 - ①令和6年度 学校経営計画及び学校評価について(川口校長より)
 - ②卒業生(4期生)の進路状況について(天満教頭より) ③生徒指導について(天満教頭より)
 - ④1年生の状況(天満教頭より) ⑤1・2年生 アンケート結果(天満教頭より)
 - ⑥クラブ活動状況について(天満教頭より) ⑦広報活動について(天満教頭より) ⑧質疑応答
- ・次回の日程確認

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ①令和5年度 学校経営計画及び学校評価について(川口校長より)
 スクールミッション、グラデュエーションポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの確認。
 学校経営計画については、3巡目になるので見直しをしていく必要があると考えている。
 学校説明会などで、本校でできることなどをより伝えていくことが必要。
 →ポリシーに対して大阪弁になったことで違和感がある。
 →〇〇ポリシーと難しい言葉を使う事で、理解がしにくくなっているのかなと思われ、その影響で大阪弁を使う形になったのだろうか。
 →保護者から見ると各校いろいろ書いているが、何がしたいのかわからないものが多い。親でこのような状況なのであれば中学生はなおのこと。全体的にもっとわかりやすくしてほしい。等の意見が出た。
- ②卒業生(4期生)の進路状況について(天満教頭より)
 昨年度卒業生の進路状況の確認。
 →就職の定着率はどの程度かの質問に対し、企業訪問で辞めた生徒の話を聞くこともあるが、頑張っている様子を聞くことも多く、多くいるということではないと思われると回答。
 →何か地域と連携やインターシップなどはしているかという質問に対し、インターンシップではないが、保育系の科目を選択している生徒は幼稚園での実習を行ったり、アート系列では地域のお店の看板を作成したりなどの活動をしていると回答。
- ③生徒指導について(天満教頭より)
 遅刻件数の減少および今年度の状況、欠席者の増加の原因、懲戒について協議を行った。
 →データを分析し、全体だけを見るのではなく、個別の対応や指導につなげ、その生徒の励みにつなげてほしい、という意見が出た。
- ④1年生の状況(天満教頭より)
- ⑤1・2年生 アンケート結果(天満教頭より)
 教員から見た1年生の様子や今後の展望などを委員と情報共有した。
 また、アンケート結果をもとに協議を行った。
 →広報活動の見直しやSNSの活用、授業の取り組み方、府へアンケートのあり方の再検討の報告などの意見が出た。
- ⑥クラブ活動状況について(天満教頭より)
 部活動の入部率や活動状況について協議した。
- ⑦広報活動について(天満教頭より)
 パンフレットやPTA新聞の確認。学校説明会などへの参加予定などの報告。

次回の会議日程

日時	令和6年10月26日(土) 9時30分～
会場	大阪府立淀川清流高等学校 校長室